

令和3年2月8日

保護者 様

北九州市立ひびきが丘小学校
校長 田邊 伸三

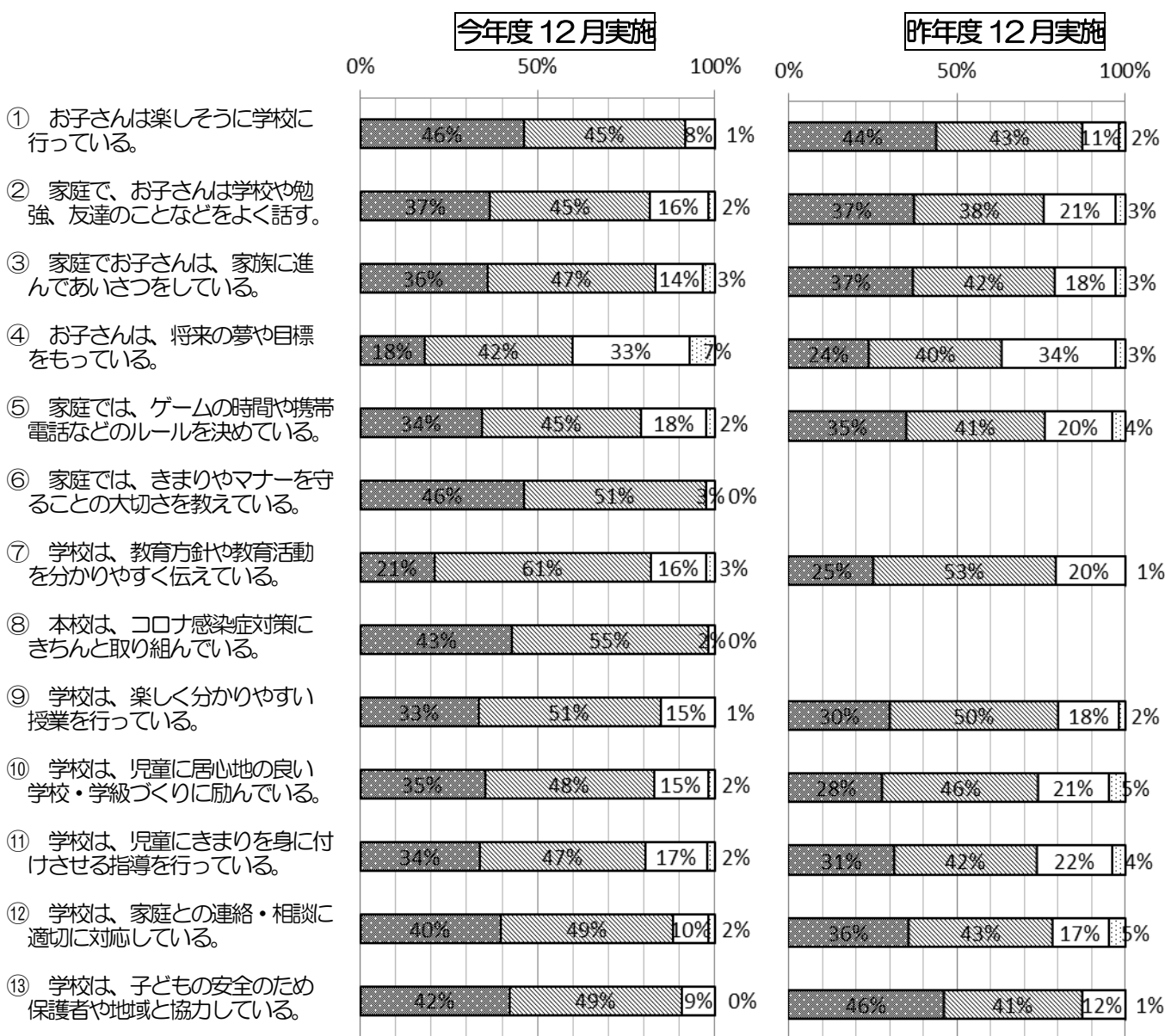
学校アンケートおよび学校評価の結果について

保護者の皆様には、日頃より本校教育活動に対し、ご理解とご支援をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

学年末にあたり、保護者の皆様からご回答いただいた「学校アンケート」の結果や職員の自己評価および児童アンケートの結果等をふまえて、今年度の学校評価をお知らせいたします。

1 保護者 教育活動に関するアンケート結果 (児童数 193、回答数 164、回答率 84.9%)

◐ : できている ◑ : おおむねできている ◒ : やや不十分である ◓ : 努力を要する



○ 昨年度と今年度の肯定的評価（「Aできている」と「Bおおむねできている」の合計）を見ると、ほぼ全ての項目において、70%~80%以上の保護者から肯定的評価をいただきました。

○ 評価を比較しますと全体的に、昨年度に比べ、今年度のほうが評価が上がっています。特に「⑨

学校は、楽しくわかりやすい授業をおこなっている。」「⑩学校は、児童に居心地の良い学校・学級づくりに励んでいる。」「⑪学校は、児童にきまりを身に付けさせる指導を行っている。」「⑫学校は、家庭との連絡・相談に適切に対応している。」の項目については、コロナ禍においても児童が安心安全に学校生活を過ごしつつ、一人一人の学びを保証しようとする取組が評価されたものと捉えています。特に、学校の重点課題として取り組んできた「学校のきまりやマナーの徹底」については、情報発信をさらに行い、保護者の皆様への啓発や理解に努めていきたいと思えます。

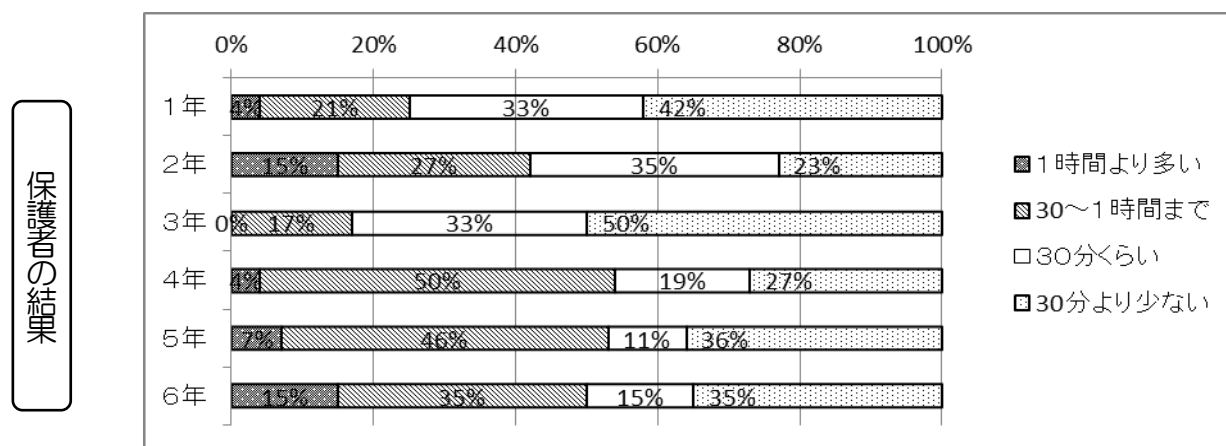
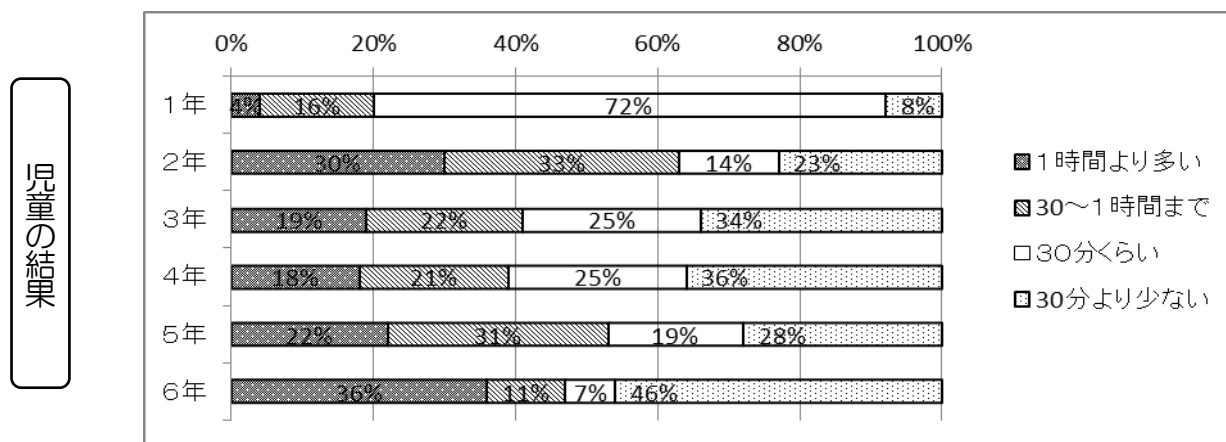
- 昨年度同様、「④お子さんは、将来の夢や目標を持っている。」の評価が低くなっています。この評価を課題として受け止め、高学年を中心としたキャリア教育の推進を更に図っていきます。

2 家庭学習の時間について

児童と保護者の皆様に「1日どのくらい家庭学習をしていますか。」のアンケートを行いました。結果は下記の通りです。児童と保護者で家庭学習の取り組み時間の認識に大きな差が見られます。目安とされている「学年×10」分程度と比較すると、保護者の方の結果からは、いくつかの学年で妥当な時間、取り組めていないといえます。児童の結果からは、時間をかけて家庭学習に取り組んでいる子と、家庭学習に取り組めていない子の二極化が見られます。

学校としても、宿題の内容や量が適切か検討する必要がありますが、ご家庭での取り組み方として、時間を決めて集中して学習に向き合う姿勢を身に付けていくことや、保護者の皆様に家庭学習の見届けをしていただく必要があると思えます。

学校は、高学年を中心とした自主学習の促進や、家庭での学習の取り組み方などを指導し、継続して児童の家庭学習の定着を図っていきます。

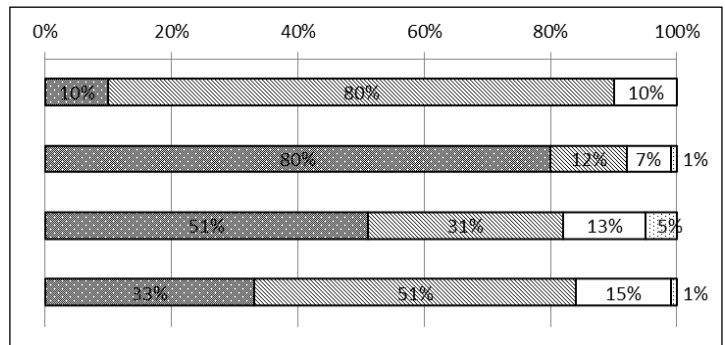


3 令和2年度 スクールプランに沿った評価について

<A ■: できている B ▨: おおむねできている C □: やや不十分である D □: 努力を要する>

① 「学力向上」・・・進んで学ぶ子ども

- (職) 児童に「めあて」「まとめ」を意識させるめ、構造的な板書を心がけている。
- (児) 授業中、ノートに「めあて」と「まとめ」を必ず書いていますか。
- (児) 授業中、ノートに自分の考えたことや分かったこと、ふりかえりを必ず書いていますか。
- (保) 本校は、子どもにとって、楽しくわかりやすい授業を行っている。

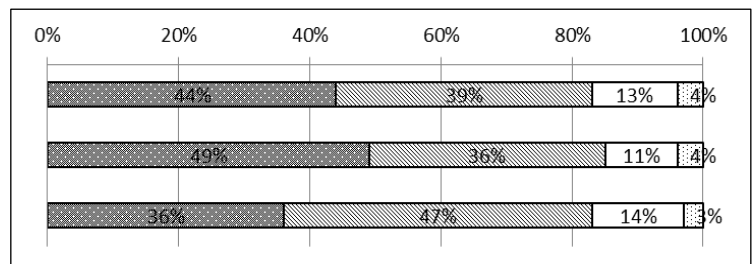


職員は「おおむねできている」との評価が多く、学校のスタンダードに沿った授業に努めています。また、児童、保護者の方ともに肯定的評価が80%を超えています。児童も「ノートに自分の考えやふりかえりを書いている」と答えた割合が半数を超えています。スクールプランに基づいた学習のスタンダード化が定着してきていることが伺えます。一方で、今年度コロナ禍において「話し合う活動」の取組が難しかったのですが、多面的・多角的な見方・考え方を育てるためにも、学習時間に適切に「話し合う場」を工夫して設けていく必要があります。また、学習に積極的に取り組めていない児童への対応を粘り強く続ける必要もあります。クラスの児童の実態に沿った、楽しくわかりやすい授業の工夫に努めていきます。

② 「心の育ち」・・・心豊かな子ども

あいさつの励行

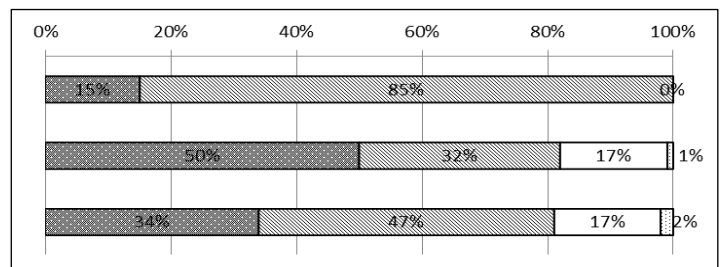
- (児) お友達や先生に、元気よくあいさつをしている。
- (児) おうちの人や地域の方に進んであいさつしている。
- (保) 家庭でお子さんは、家族に進んであいさつしている。



80%以上の児童が「自分からあいさつをする」と答えています。校内でも上級生から下級生まで朝の健康チェックや廊下等で職員とすれ違う際、あいさつをする児童が多くいます。また、昨年度に比べて児童の自己評価も伸びています。しかし、個人差があり、自分から進んであいさつをする児童もいれば、こちらから挨拶をしても、挨拶を返さずに無言で歩いていく児童もいます。あいさつは適切なコミュニケーションを行うための大切な入り口です。進んで・相手を見て・相手に聞こえる声で挨拶をするよう、教師自らが手本となり繰り返し指導するとともに、ご家庭とも協力し、あいさつを入り口として、コミュニケーション能力の育成に努めていきたいと思ひます。

きまりを守る

- (職) 「規則を大切にすること」についての指導を、教育活動全体を通して行っている。
- (児) 学習中や休み時間の約束やきまりを守っていますか。
- (保) 本校は、子どもにきまりを身に付けさせる指導を行っている。

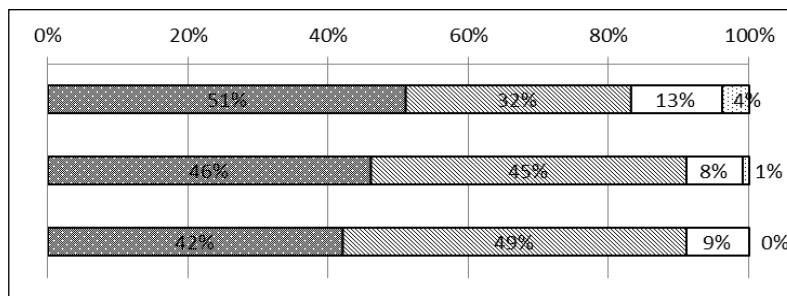


本校では「ひびきが丘小学校生活のきまり」をもとに適時、学校生活のきまりやマナーを児童に意識させています。また、今年度は本校の重点課題として学校全体で取り組んできました。児童も80%

以上が、きまりを守っていると自己評価していますが、昨年度と比べると評価は下がっています。実際に、休み時間後のチャイム席が守れなかったり、学用品などの持ち物のきまりが守れなかったり、言葉づかいの乱れが目につくようになってきたりする児童が増えてきています。また、地域の方々から、交通ルールや公共のマナーなど学校外で、きまりを守ることが身につけていない児童がいるとのご指摘を受けることがあります。粘り強く、適切に学校で指導していくと共に、保護者の方とも連携して、社会のルールを守り、生活できる児童の育成に取り組んでいきたいと思ひます。

居心地のよい学校

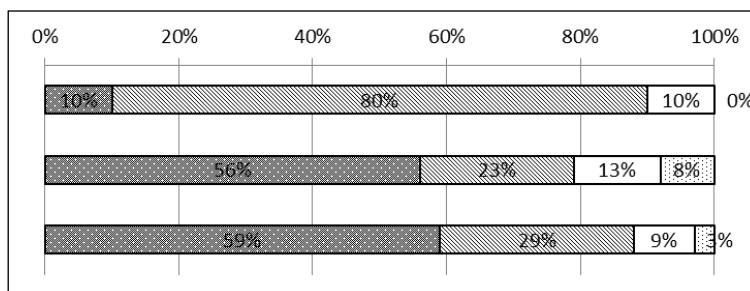
- (児) 学校に来るのは、楽しいですか。
- (保) お子さんは、楽しそうに学校に行っている
- (保) 本校は、子どもの安全な生活のための保護者や地域と協力している。



本校は、人権教育を教育活動の中心に据え、地域や関係機関と連携しながら様々な取組を行っています。その取組の成果が、児童にとって「居心地のよい学校」となり、保護者の方にとって「安心・安全な学校」と評価していただいていると思ひます。昨年度より児童・保護者の方共に評価の数値は上がっています。「学校に来るのが楽しい」児童で埋め尽くされるよう、今後も児童の行動、様子を注意深く見とり、適切な支援を行いながら児童の育成に努めていきます。

③ 「体力向上」・・・たくましい子

- (職) 休み時間は外に出て活動するなど、自分から運動に親しむように児童に勧めている。
- (児) 運動やスポーツは好きですか。
- (児) 体育の時間は、学習のめあてや自分の目標が達成できるように、運動に取り組んでいますか。



本校は、毎週木曜日の15分休みの時間、「運動タイム」に取り組んでいます。しかし、今年度はコロナ禍のため、前期は取組を控えることとなりました。後期は持久走大会に向け、持久走の取組を行いました。児童も運動タイムのみならず、朝や昼休みも自主的に取り組む姿が見られました。児童の基礎体力向上と健康を考えた取組は、少しずつではあるが成果が上がってきているといえます。また、本校スクールプランに掲げる「体育科の授業時間での25分程度の運動時間の確保」も専科指導をはじめ、各担任が真剣に捉え、体育科の学習で授業改善を行い、運動量の確保に努めています。

4 令和3年度に向けて

- 分かりやすい授業を通して、主体的に学習に取り組む子どもを育てる。
- きまりやマナーを守る子どもを育てる。
- 温かい学級づくりを基盤とし、豊かな心を育てる。
- 日々の健康教育を着実にを行い、自分の健康に関心を持ち、健康な生活を送るための実践力を育てる。